

株式会社Plus One

新しい価値観を創造し、 社会貢献できる製品開発を目指す

[製造業]

飲食用容器連結器具

■企業プロフィール

〒791-0312
愛媛県東温市則之内乙939
TEL / 089-968-2547
FAX / 089-968-2644
設立 / 平成24年7月(法人化:平成25年7月)
資本金 / 650万円
事業内容 / 防災用品・ペット用品・雑貨商品の企画・製造・販売
<http://iyocom.jp/plusone/kikuno2913@ybb.ne.jp>

■社長プロフィール

菊野 宏文
1954年内子町生まれ。松山商科大学経営学部卒。旅行会社勤務、木材会社営業、雑貨企画会社経営を経て、2012年7月(株)Plus One設立。現在に至る。
座右の銘は“継続は力なり”



- スローガン
他社製品にはない新しいものに粘り強く挑戦していく
革命的イノベーションを起こせるような製品を開発する
- オリジナル製品・サービス
紙コップに食品容器を重ねて片手で持てる「プラスワンパック」
災害時用携帯トイレ(愛媛県知事認定製品・特許・意匠取得済)



代表取締役社長
Hirofumi Kikuno
菊野 宏文

特許商品の開発一筋、新しいものに挑み続ける



震災で目覚めた 防災意識と特許取得への情熱

「特徴のある、他社にはないものを」と特許商品の開発にこだわる菊野社長が初めて特許を取得したのは、平成23年9月。プラスワンの前身であるクリエイティブ・Kを設立し、紙とゴミ袋だけで組み立てられる災害時用携帯トイレを開発した。開発の動機は、阪神淡路大震災での被災。10日間の避難所生活を経験し、以来、災害時の避難所トイレ問題を解決したいとの一念で開発を続けてきた。平成25年7月、共同出資者を得て同社を法人化し、姫路工場での製造を開始。現在、防災用品、ペット用品、雑貨商品の企画・製造・販売を行う。

提案次第で市場性が広がる 期待の「プラスワンパック」

現在、特許・意匠登録出願中の新商品「プラスワンパック」は、オリンピックのトーチをイメージした組み立て式の飲食用容器。立食パーティーでコップと皿の置き場所に困り、「飲み物と食品をセットで持ち歩ける容器が

あれば」と考案した。市販の紙コップをホルダーに入れ、食品用のカップをのせるだけのシンプルな構造。ホルダー、カップ共に組み立て式のため、加工費・物流経費を抑え低価格で提供できる。ホルダーは、既成の紙コップ・プラスチックコップのサイズに対応しており、汎用性も広い。さらに、企業や施設の社名、ロゴ、キャラクターなどを印刷したオリジナルデザインで製作することもでき、ノベルティとしての提案も可能だ。立食パーティー、ホームパーティーなどのほか、テイクアウトの店や食のイベント、祭り、映画館、スポーツ観戦など、あらゆる場所での需要が見込まれる。平成27年1月から東京・大阪・岡山の3拠点で営業所も展開し、国内市場はもとより海外へも販路拡大を目指す。

紙とカッターから、 シンプルな形を続々開発

「プラスワンパック」はストローを使用するソフトドリンク向けの商品だが、「ビールやホットコーヒーのカップに食品用容器を組み合わせた新たなホルダーも開発している。こちらはコンパクトに折りたたんで携帯でき、さらにシンプルな構造になっている。またストローペーパーを使用したフラワーベースの開発もほぼ完成しており、平成27年度の販売開始を計画している。今後も独創的な発想とマーケティング戦略で、他社製品にはない独自の製品開発と新しい市場を生み出せるだけの特許商品の開発に挑戦していきたいと考えている。